

後からでもわかるメモを

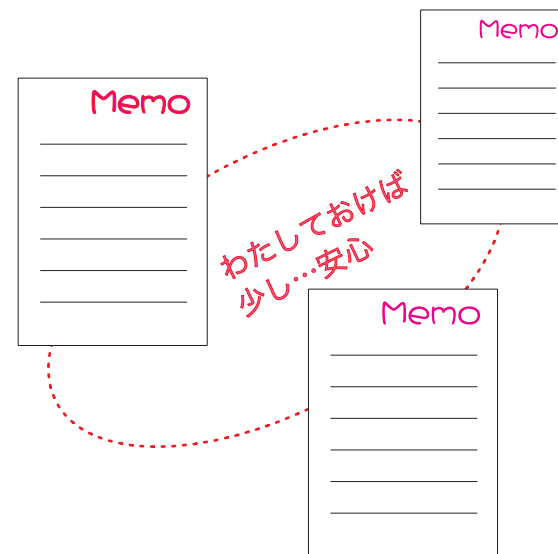
メモしたことを忘れる…ということもありそうです。…が、残したメモの内容が分からない…ということにならないように、必要な項目や内容をしっかり残すようにしましょう。メモが役に立つ立たないの分かれ道になります。



そのときは分かっているけど、ポイントだけを記録することになります。これでもか…くらいに書いておきましょう。

約束なら相手にもメモ…

次のお約束なら、お相手にもメモをわたしましょう。電話なら、すぐにメモです。ご自分だけでなく、お相手にも覚えておいていただくようにできると安心です。これも快適生活のワザのひとつです。



2人、3人がメモを持っていれば、誰かが覚えていて忘れそうな人に連絡をしてくれるかもしれません。